

## 第2回別海町自治推進委員会 概要

開催日時：令和6年12月23日（月）午後1時30分から午後3時00分

開催場所：別海町役場 3階 301会議室

出席委員：大森和男、大橋正汰、高橋智美、武田隆、棚橋昌博、中澤豊子、麻郷地聡  
吉野朋博、平澤珠美  
(欠席委員 今井加奈、佐藤瑠依)

<会議次第>

- 1 開会
- 2 議事  
議題1 前回の振り返りについて【資料1】  
議題2 意見提出に係るワークショップについて【資料1・資料2】
- 3 その他
- 4 閉会

### 1 開会

委員長挨拶

### 2 議事

#### 議題1 前回の振り返りについて【資料1】

・事務局より前回行った内容、今後の取り組みを説明

#### 議題2 意見書提出に係るワークショップについて

・事務局より資料1、資料2を用いて説明

(第5期自治推進委員会で行ったワークショップをもとに今回もワークショップを行う)

#### 【意見、質問】

委員

自治推進委員会で、町民と行政が一体となって物事を進めていくというその在り方を考えていくというものだと思う。前回も思ったが自治推進委員会の役割ってわかりづらい。なにを話したらいいかわかりづらいことがハードルになっているのではないかな。

町民に参加を促しても、町民にとってわかりづらいのではないかな、もっとわかりやすいものにならないかなと感じた。

事務局

そういうご意見は過去からあった。前自治推進委員会では、町づくりの現場や生活感を共

有することから何かできないかということで、前回のワークショップも手探りで始まったところもあったが、結果としては行政がはやく反応できた。議論の導入の部分に課題があるので、皆様のご意見を参考に進めていけたらと思っている。

#### 委員長

委員さんのわかりづらいという思いはみんなが思っていることだと思う。

自治推進委員会の設置目的と基本条例の制定目的を読むと、どんなことでも全て自治推進委員会で話すべき内容の一つになるから、的外れなことはない。

その中で一番気にかかっていることはどこなのかを話し合っ絞りでいき、その意見を最終的には意見書として要望していくというような内容になっていくと思います。

私も前回どう進めていくかで、非常に悩ましかった。

でも、その中で意見書を作り上げていきました。

できるだけ時間をかけて話し合いながらその中で、事務局の力も借りながら進めていきたいと思っている。

#### 事務局

議会で答弁するときにも自治基本条例という言葉を使う。これが町の基本ルールとなつて、議会でたびたび確認のようにこの言葉が出てくる。

もしかしたら、前回の委員会で新しい委員さんもいる中で勉強会のようなことを行ったり、詳しい人を呼んでお話をいただいたりする必要があったかもしれない反省をしている。

#### 委員

推進委員会の制度はすごく評価しています。補助金のこともすぐ対応してくれたし、情報の面ではLINEが配信されたり議会のYouTube配信がされていたりとすごく変わってきている。これは大きな評価だしすぐ対応してくれている。我々が進めていくときに少し難しいなと思うことがあっても、実際はざっくばらんに様々な意見を出していくんだということが改善するのにつながっていくんだと感じた。

#### ----- ワークショップ -----

#### 委員長

では、さっそくワークショップに入っていきます。

付箋に書いた意見を事務局が回収して意見の発表をし、次回のために整理していきます。

今日意見がまとまってない人も次回の時に自分の思いが整理出来たら追加で意見を出していただいても構いません。

20分程度時間を取ります。よろしくお願ひします。

事務局よりワークショップで出た意見発表（ワークショップまとめ記載）

委員長

今回いただいた意見は次回までに整理していただいて、意見について書かれた方で実はこういうものもあるよという方はそれぞれ補足説明していただいて、その言葉通りの場合はそのままで大丈夫です。

以前に出た意見も含めて総合的に進めていきたいと思っています。

最後に事務局からお願いします。

事務局

次回の委員会につきましては、来年の2月または3月上旬に開催できればと考えています。

また、ほかに意見がありましたら御気軽に事務局へご連絡ください。

委員長

来年の意見書が作られるまでには何回ぐらい委員会を開催する予定なのか

事務局

今年度はあと1回。来年度は3回程度を予定しています。

委員長

全体としてご質問はありますか。

ないようなので以上で終わりたいと思います。

ありがとうございました。